



12月 おひさまだより

令和5年12月1日
社会福祉法人えどがわ
松島おひさま保育園

松島おひさま保育園の保育目標

- ✿心身ともに健康な子
- ✿思いやりや感謝の気持ちが持てる子
- ✿よく見て、よく聞き、よく考え行動できる子

朝晩の寒さが少しずつ厳しくなり、冬の訪れを感じられるようになりました。それでも晴れた日の日中は暖かく、まだまだ身体を動かして遊ぶと汗ばむ子ども達の姿も見られます。最近では日により気温の変化が大きいので、衣服や上着で調節しながら引き続き戸外で思いきり身体を動かし遊べるようにしたいと思います。

先月、幼児クラスは遠足に行きました。クラスごとに行先は違いましたが、秋の自然に触れたり大型バスやお家の方のお弁当に笑顔が溢れ、普段はなかなかできない体験をして楽しみました。また、食育集会では給食で人気の「手作りふりかけ」が出来るまでを体験しました。鰹節が出来る過程を知り、鰹節からのだしとり→味噌汁、そしてだしをとった後の鰹節でふりかけが出来ることに驚き目を輝かせていました。子ども達にとっては見るもの聴くもの全てが発見の連続です。子どもの気付きや感動・疑問等を大切に、一緒に感じたり考えたりしながら楽しさを共有したいと思います。

これから日増しに寒く空気が乾燥する季節になり、風邪等の感染症が流行しやすくなりますので、子ども達の健康管理と感染症予防に努めていきます。今年も残すところあとわずか。一年の締めくくりをして、元気に新しい年を迎えましょう。今年もたくさんのご協力を頂き、ありがとうございました。



★12月の行事予定★

- 5日(火) チャレンジスポーツ (3,4,5歳)
 - 8日(金) 大きくなあれの会 祖父母観覧日
(リハーサル) (3,4,5歳)
 - 13日(水) 大きくなあれの会リハーサル (3,4,5歳)
※ウェルキッズフォトによる写真撮影があります。
 - 14日(木) 避難訓練
 - 16日(土) 大きくなあれの会 (3,4,5歳)
 - 18日(月) 英語あそび (3,4,5歳)
 - 19日(火) おはなしにこにこ (4,5歳)
 - 22日(金) クリスマス会
- ※12月29日(金)～1月3日(水) 年末年始休み

《地域交流》

- おひさま子育てひろば 7日(木)・19日(火)

★1月の主な行事予定★

- 12日(金) 新年お楽しみ会
- 18日(木) 歯科検診
※出来るだけ登園をお願いします。
- 24日(水) 親子で遊ぼう会・保護者会 (2歳)
- 26日(金) 保護者会 (5歳)
- 30日(火) 親子で遊ぼう会・保護者会 (1歳)

～お知らせとお願い～

<大きくなあれの会 (3,4,5歳) 写真撮影について>

- 12月13日(水)のリハーサルにてウェルキッズフォトによる販売写真の撮影を行います。
(16日(土)当日の業者による写真撮影はありません。)

<年末の荷物の持ち帰りについて>

- 年末は、シーツ上下、引き出しの中の衣類等、外遊び用の上着、上履きを持ち帰ります。衣類のサイズ、枚数、名前等の確認をして、年明けの登園時にお持ちください。宜しく願いいたします。

<園より年賀状を送ります>

- 喪中等、事情のある方は12月15日までに職員までお知らせ下さい。申し出のない方には全員送らせて頂きます。

～プール熱、アデノウイルスが流行しています～

「プール熱」「アデノウイルス」の感染が園内で増えてきています。発熱や目の充血、喉の痛み等いつもと様子が違うと感じた時は様子を見て通院をお願いいたします。ご家庭でも手洗い・うがい等の感染対策をして頂きますよう、宜しく願いいたします。

<今月の10の姿>

【7、自然との関わり・生命尊重】 自然に触れ興味を持つ。命あるものを大切にできる気持ちをもつ。

(例)・自然に出会い、感動する体験を通じて、自然の大きさや不思議さを感じ、畏敬の念をもつ。

- ・同じ物でも季節により変化するものがあることがわかり、変化に応じて遊びや生活を変えるようになる。
- ・自然現象を遊びに取り入れたり、自然の不思議さをいろいろな方法で確かめたり、身近な自然現象への関心が高まるようになる。
- ・生き物と共に遊んだり、世話をしたりする中で、生命の不思議さや尊さに気づき、命あるものとして大切にできる気持ちをもって関わるようになる。

～各クラスの様子を紹介します～

～いちご組～

入園してから、園庭や公園の自然にたくさん触れてきました。4月には泣いていたお友だちもアリやお花を見つけるとにっこり笑顔になって遊びだしたり、夏にはセミやカブトムシに興味を持って一緒に観察したり触ってみることを楽しみました。秋になり、金木犀のいい香りを探し、落ち葉やどんぐりを集めお友だちと「ここにあったよ！いっぱいあるよ！」とお話することも増えました。季節の移り変わりに応じて子どもの遊び方や視点も変化しています。色々な自然に触れて成長している子ども達。これから先の成長もとても楽しみです。冬にはどんな自然が見つかるかな…？と今からワクワクしています。

～つくし組～

秋の季節になり、落ち葉やどんぐり等の木の実がたくさん落ちている季節になりました。落ち葉を見つけると、「赤の葉っぱだから～、いちご！」とごっこ遊びが始まります。「黄色の葉っぱはレモン！酸っぱいよ」とお友達や保育士とやり取りを楽しんでいました。また、どんぐりを見つけると細長く少しお尻の部分が曲がっていると「バナナどんぐり」とお話するお友達もいてその可愛い発想に微笑ましくなりました。秋の宝物である自然物を探索しながら面白い発想で遊ぶのが大好きなつくし組の子ども達です。

～たんぼぼ組～

1冊の絵本を通して子ども達と四季を感じた出来事です。「春」たんぼぼやてんとう虫の写真を見て「てんとうむし、おはなにいたよ」。「夏」のページでは太陽が眩しく、空が快晴の場面。カブトムシやクワガタが出てくると「カブトムシ、さわれたんだ」。そして「秋」は赤、黄、緑の葉っぱを見て「キレイ！」「とんぼいたね～！」「秋の次は何か？」「ふゆ！」と元気に答える子ども達。クリスマスのイルミネーションや雪だるま、大好きなミカンが出てくると「ミカン、すき～」と絵本を通して子ども達と季節の移り変わりを感じたひと時でした。

～すみれ組～

4月当初は力加減も難しくアリを捕まえるのに力を入れ過ぎて、弱らせてしまう子ども達でしたが、紙芝居や絵本、日々の生活の中で少しずつ生き物への接し方を考えられるようになりました。部屋にクモが入ってきたときは保育士が紙コップで捕まえる姿を見て「すごい！」と感心していた子ども達。しかし現在はつぶしてしまうとかわいそうと思う気持ちが芽生えてきたようで、部屋で虫を発見すると「つぶしちゃだめ！」「外に逃がしてあげる」と生き物に対しての関わり方をすみれ組なりに考えています。

～のぎく組～

秋にはどんぐり拾いが大流行。散歩先で「先生、袋ちょうだい」と色々な種類のどんぐり拾いを楽しみました。大きさ比べや形の違いを観察し、お金に見立ててお店屋さんごっこを楽しんだり、葉っぱのお皿にどんぐりを集めてどんぐりご飯を作って秋を感じていました。又、バッタやトンボにもよく会えました。触れる事を楽しむだけでなく、「何食べるのかな？」「葉っぱ入れた方がいい？それとも土？」と図鑑を開いて調べる子ども達の姿が多く見られました。